

2021年度 第1回 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会 議 事 録

1. 開 催 日 時 : 2021年5月21日(金) 19:00~20:16
2. 開 催 場 所 : オンライン開催、町田市医師会館
3. 出 席 委 員 : 川村益彦、五十子桂祐、山田潔、井上俊(代理)、岡元信太郎、西原佳子、齋藤秀和、大島泰嗣、臼井亨、川島政美、北場充、龍山敏孝、及川裕美子、永見直明、井上健太、大庭陽平、小金栄太、長谷川昌之、齋藤美和子、青木範和、黒澤一弘
計 21名(敬称略)
4. 欠 席 委 員 : 常盤弘幸 (敬称略)
5. 市 側 出 席 者 : 高齢者福祉課 江成裕司、皆川麻美、江崎薫、山田冬射、二串裕人
保健総務課 田村光平 (敬称略)
6. 医師会出席者 : 事務局 阿部斉人 (敬称略)
7. その他報告者 : 菅朋宏、遠藤圭 (敬称略)
8. 傍 聴 者 : 52端末
9. 記 録 : 町田市介護人材開発センター 石原正義、宮本千恵、倉貫理恵

《資 料》

- | | |
|---------|--|
| 資料1 | 2020年度 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト活動報告 |
| 資料2 | 第15回多職種連携研修会「薬剤師に聞いてみよう！～くすりと上手につきあう方法」報告書 |
| 資料3 | 町プロ多職種研修会緊急企画 動画配信について |
| 資料4 | 医療と介護の連携支援センター2020年度実績について |
| 資料5_1 | 地域ケア推進会議報告書(堺1) |
| 資料5_2 | 地域ケア推進会議報告書(忠1) |
| 資料5_3 | 地域ケア推進会議報告書(町田圏域) |
| 資料5_3別紙 | 町田圏域地域ケア推進会議報告 |
| 資料6 | 医療と介護の資源マップ更新について |
| 資料7 | 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針(2021~2023年度) |
| 資料7別紙1 | 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの取り組み
(~2020年度) |
| 資料7別紙2 | 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト(2021~2023年度) 工程表 |
| 資料8 | 2021年度多職種連携研修会について |
| 資料9 | 2021年度医療と介護の資源紹介イベント開催について |
| 資料10 | 新型コロナウイルス蔓延期でも対応するための訪問介護の手引 |
| 資料11 | 新型コロナウイルス 訪問看護サービス対応マニュアル |
| 資料12 | 施術報告書 フォーマット |

《開 会》

1 開会挨拶

【川村会長】 皆さん、こんばんは。お忙しい中、参加していただき、ありがとうございます。コロナ禍で皆さんも大変ご苦労されていると思う。ようやく高齢者向けのワクチン接種が始まろうとしている。皆さんの施設は既に接種が進んでいるか。ワクチン接種もまだ始まったばかりなので、感染対策を続けていかなければいけない。本日の協議会も報告事項、協議事項たくさんあるが、円滑に会を進めていきたいと思う。よろしく願いいたします。

2 委員紹介

委員名簿に沿って各委員の自己紹介が行われた。

3 報告事項

(1) 2020 年度町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト活動報告 【資料1】

【高齢者福祉課・二串氏】 二串氏により資料1に沿って報告された。

(2) 第 15 回多職種連携研修会開催報告について 【資料2】

【研修部会長・菅氏】 菅氏より資料2に沿って報告された。

今年度の研修は、アンケート回収率を上げるために例えば、研修動画を DVD にして高齢者支援センターで視聴会を行う際に紙面でアンケートを行うなど工夫していきたくと考えている。

【薬剤師会・井上氏】 アンケートを実施していただき、ありがとうございます。我々もいただいたアンケート結果を持ち帰り、理事会で公表した。概ね好評だったということで自分たちは満足しているが、もっと他にもこういったことをやってほしいというようなことがあれば、おっしゃっていただければ実施していきたいと思う。よろしく願いいたします。

(3) 多職種連携研修会緊急企画・動画配信について 【資料3】

【高齢者福祉課・二串氏】 二串氏より資料3に沿って報告された。

動画の再生数は推移がわかりやすいように過去の協議会で報告した数を記載している。ここに記載している再生数は、町プロポータルサイトに直接動画をアップロードしているため実際に動画を再生した数ではなく、あくまでサイトにアクセスした数で再生数を記載している。これだと実際動画が何件見られたかということがデータとしてわからないというデメリットがあったので、今後は YouTube に動画をアップしたものを町プロポータルサイトに掲載することで実際に動画が再生された回数を正確に把握していきたいと考えている。昨年6月の動画配信当初は町プロ参加団体の皆様に協力をいただきながら、動画を作成してきたが、現在は国や都でも同様の動画を多数作成していることから、今後はそれらの動画も合わせて町プロポータルサイトに掲載して情報の拡充を図りたいと考えている。また、今後の動画作成に関して、町プロの参加団体の皆様からこのような動画が作りたい、このような情報を知りたいというような熱い思いをいただいて、ぜひ、皆様のご意見やご要望がありましたら、オリジナル動画を作成していきたいと思っているので事務局までご連絡いただきたい。ご提案いただいた内容を参考に引き続き、オリジナル動画の作成をしていきたいと考えている。

(4) 医療と介護の連携支援センター・2020 年度実績について 【資料4】

【長谷川委員】 長谷川氏より資料4に沿って報告された。

【川村会長】 在宅要介護者受入支援事業は非常に良いことだと思うが、実際にどの程度の利用があるのか。

【長谷川委員】 実績としては今のところ、ございません。毎週末ごとに可能性があるのですが、今のところ、実際の利用に繋がっていない。

【川村会長】 この事業の周知がまだできていないのではないかと思います。今回、ここで周知をしていただいたので今後利用することが増えると思う。初めて聞いた方もいると思うので、今後、利用してほしい。

(5) 地域ケア会議について(堺第1、忠生第1、町田圏域) 【資料5】

【長谷川委員】 長谷川氏によって資料5に沿って報告された。

皆様に1点提案がある。町プロお薬手帳カバーに関しては町田圏域をモデル事業として1,000部作成した。圏域でのアンケート調査でも、このお薬手帳カバーを活用したいという声を多く確認している。今後、この取り組み自体は町プロ自体の普及啓発及び各職種間の円滑な連携に非常に有効なものではないかと考えている。ぜひ、町田市全域での活用について次回の協議会で協議していただきたいと考えている。本日協議予定の多職種連携研修会や医療と介護の資源紹介イベントなどにおいても、お薬手帳カバーを活用し、さらなる町プロの普及啓発、理解促進を図れればと考えている。

【川村会長】 コロナ禍のなかで皆さんが協力して地域ケア推進会議を実施していただき、ありがとうございます。大変でしょうが続けていっていただきたい。このお薬手帳カバーは非常に良いので、1,000部と言わず、予算の関係もあると思うが、できるだけ作れるようにして薬局に置いていただくなどの方向で検討していただきたい。

(6) 医療と介護の資源マップ更新について 【資料6】

【高齢者福祉課・山田氏】 山田氏より資料6に沿って報告された。

(7) 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針(2021～2023年度)及び2021年度町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施スケジュールについて 【資料7】

【高齢者福祉課・皆川氏】 皆川氏より資料7に沿って報告された。

本件は、前回の協議会で承認いただいた内容だが、ご指摘いただいた誤字を修正したので、こちらを確定版として確認していただきたい。実施方針の2ページ目(2)③医療と介護の連携支援センターの運営の部分で2020年度の相談件数を前回は暫定値で記載していたが確定値に更新したので確認していただきたい。

4 協議事項

(1) 2021年度多職種連携研修会について 【資料8】

【研修部会長・菅氏】 菅氏より資料8に沿って説明された。

【長谷川委員】 この研修のテーマについては、各支援センターからも高齢者の外出控えで健康状態が心配されるということがあった。「成人健康診査及び各種検診」という介護予防につながる入口の部分を各専門職が知ることで市民の方にお話しできるようになればと思っているので、今年度はこの研修テーマで研修を実施させていただけたらと考えている。

【齋藤議長】 検診と言えば歯科検診も高齢者検診があると思うが、成人健康診査を中心ということか。

【長谷川委員】 町田市にある通常の検診と歯科も含めてと聞いている。そこも検討いただきたい。

【山田委員】 歯科検診は成人歯科健康診査と高齢者歯科口腔機能検診があり、機能面の部分、いわゆる飲み込みや咀嚼力などの衰え、そういう部分が口腔機能低下、プレフレイルの状態と言われている。昨年度から今年にかけて先ほどからお話があるように高齢者の外出の控え、引きこもりになった状態が見られるので、その辺もご協力できたらと良いと思う。どういう形でやっていくのがいいのかは、また皆さんと相談したい。

研修部会で引き続き検討していくことで承認された。

(2) 2021年度医療と介護の資源紹介イベント開催について 【資料9】

【高齢者福祉課・山田氏】 山田氏より資料9と別紙に沿って説明された。

昨年度に実施したウォークラリーで行ったアンケートでは、ほとんどの方がイベントに満足、また参加したいとの回答だった。現在も新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、引きこもりがちな高齢者も多いので、今年度は開催エリアを変えて同様のイベントを開催することで高齢者が外に出るきっかけを作るとともに地域の医療機関や介護事業所を知ってもらいたいと考えている。開催場所は前回の経験から高齢者支援センターの担当エリアで検討した。市内の12の高齢者支援センターすべてにイベント開催の希望がないか確認したところ、鶴川第1高齢者支援センターと鶴川第2高齢者支援センターを合わせた鶴川圏域と南第2高齢者支援センターから手が上がった。事務局で検討した結果、鶴川圏域だと範囲が広く、ウォークラリーの開催規模としては大きくなってしまったため、今年度は南第2高齢者支援センターのエリアで実施できればと考えている。開催時期は、9月末から10月初旬に予定している。内容は地域の医療機関と介護事業所をめぐって一定の条件を満たしたらプレゼントと交換する。プレゼントは町プロのオリジナルお薬手帳カバーと南第2エリアの医療と介護の資源がわかる冊子

を予定している。実際の内容は地域の特性に合わせて、南第2高齢者支援センターと事務局で協議して進めていきたい。

【研修部会長・菅氏】 南第2高齢者支援センターのエリアだと町田駅にバスで出る方も多く、自分たちが住んでいる地域の資源を知らない方も多いのが現状であるため、こうしたウォークラリーのイベントを通して資源を知っていただくために協力したいと思い、手上げさせていただいた。

開催に向けて検討をすすめる方向で承認された。

4 その他

(1) 各協議会委員の報告・意見交換など

【訪介協議会・遠藤氏】 訪問介護事業者協議会が作成した「新型コロナウイルス蔓延期でも対応するための訪問介護の手引き」(資料10)について。この手引きを作成した経緯は、毎月開催されていたサ責カフェで訪問介護に元になる手引きが必要ではないかという話が12月に出ていて、早急に作成が必要だということになり作成することが決まった。作成する時期がコロナの第2波の時期に重なり、もとになるマニュアルを一から作るのも大変なので、岐阜県の医療法人の総合在宅医療クリニックの市橋先生が作っていた手引きをもとに3名が加わって作成に携わった。2月の下旬に事業所に共有した。連絡会に事前に共有できなかったことは反省している。今後も変異株などで環境が変わりつつあるのでまた手引きを作成することになるかもしれないが、そのときは助言や協力をいただきたい。

【岡元委員】 「新型コロナウイルス訪問看護サービス対応マニュアル」(資料11)について。訪問看護ステーション連絡会で感染対策委員会を立ち上げ、そこからマニュアルを作る運びとなった。訪問看護をするにあたって濃厚接触するパターンが多くなっているため、それに対する対応ということで基本的に濃厚接触になった場合の対応、予防策としての対応を症状の有無、陽性判定者への訪問看護というところでマニュアルを作成した。このマニュアル作成も第3波や第4波が波及している時期に作成したものになるが、まだまだ穴のあるものであるため、感染対策委員会でマニュアルの内容を精査しながら、改めて改善をして良いものにしていきたい。更新されたときは皆さんに見ていただいて、ご意見をいただきたい。

【長谷川委員】 マニュアルに関して、訪問介護、訪問看護の皆様、ありがとうございます。新型コロナが昨年度から始まったときに事業所間での新型コロナウイルスの濃厚接触者や陽性者が利用者に出たときの対応がばらばらで、支援センターやケアマネジャーが苦勞したという状況がある。そのなかで統一したマニュアルを作成していただいて、それが他の事業所や各専門職連絡会にも見せていただくことで、どういう対応をされるかがわかって非常にありがたいと思った。作成、お疲れ様でした。

【大島委員】 町田市内の防災対応について。ケアマネジャー連絡会からは介護事業所における事業継続計画 BCP について提案させていただきたい。今年度の介護保険法改正において介護保険事業所全サービス、全事業所が共通で事業継続計画 BCP を作成するという制度で義務化されている。経過措置で3年間の猶予が設けられているが、この3年の間に大小問わずすべての介護サービス事業所がそれぞれの BCP を作成していくことになっている。計画に求められるものとしては、新型コロナウイルスをはじめとした感染症発生時の事業継続計画、自然災害時の事業継続計画、この2種類について計画を策定することになる。いずれも感染者や被災者が出てしまった際には、どのように適切に医療につなげていくか、医療を継続していくかということにおいて、全サービス事業所、ケアマネジャーをはじめ、じっくりと考えたうえで計画を立てていく必要があると思う。今後、3年の間に各圏域でも、この件についてはかなり議論、それからどのように作成するかなど話し合いの場がもたれると思うが、現状で、町田市、町田市医師会などで既に計画が立てられているとお聞きしているので、今後の圏域などでの話し合いの場で、それらの計画をご教授いただく機会をいただきたいと思う。

【長谷川委員】 町田市に防災計画などがあると思うので、介護や医療、障がいに関するものがあれば、それがあって、各事業所が個別に計画を立てていくべきだと思うので、何かしらの機会に教えていただきたい。

【青木委員】市の方での計画はあるがまだ大きい形になっていない。医療機関の指定などもあるが、もう少し把握した後で皆さんにお伝えしたい。どういった機会にするかわかからないが用意ができ次第、提供していきたいのでお待ちいただきたい。

【大島委員】ありがとうございます。私も厚労省のホームページから介護サービス事業所が策定するBCPのひな型を見たが、小さな事業所や特にケアマネジャーでいうと一人ケアマネジャーなどがすべて作っていくのは難しいという印象を持ってしまった。大きなものがあって、それに準じて各圏域の小さな事業所でも町田市で考えている計画に基づいた準備できればいいと感じた。

【大庭委員】「施術報告書」(資料12)について。昨年10月の協議会において皆様からいただいた訪問マッサージへの様々なご意見をもとに訪問マッサージ連絡会で話し合った内容及び進捗状況についてご報告させていただく。皆様からいただいたご意見は、評価や目標、達成状況をどうするのか、それらを含めどうフィードバックするのかという内容だった。資料は厚労省で定められた施術報告書で、主治医の先生に同意書を更新する際にご利用者様、患者様の経過を報告するものとして使用している。いわゆる施術のフィードバックに当たるものである。また、同じフォーマットでケアマネジャーや相談員などの他職種に渡しているケースもある。本来であれば、この施術報告書に必要な情報が盛り込まれていれば、ご利用者様や患者様の状況が適切に伝えられるものであり、訪問マッサージの内容が伝えられるものだと理解している。しかしながら、自由に記載するフォーマットであり、記載方法や内容について決まった形式などはなく、報告者の判断によるものとなっている。そのため報告書の作成の仕方がよくわからなかったり、目標が盛り込まれていなかったり、達成状況も客観的なものであったり、主観的なものであったりと様々な状況であることが現状であることが意見交換をするなかでわかってきた。このあたりが主治医の先生をはじめ、他職種の方に適切なフィードバックになっていないという状況であるということ連絡会として現在認識している。その状況を解決していくこととして、今後、適切なフィードバックができるようになるためには、必要な報告書の記載の仕方を統一していくことが必要だということ意見がまとまった。そのためのアクションとして、他職種から報告書の作成の仕方を学ぶ研修を設けることにした。現在、町田市リハビリテーション連絡会に研修の依頼を打診している。その研修も参考にしながら、訪問マッサージの視点から必要な情報がフィードバックできる報告書を作成できるようにしていくことを考えている。評価や目標設定、達成状況などの盛り込む内容については、次回の協議会までに改めて報告させていただきたいと考えている。また、現在マッサージ連絡会の会員は13事業所であるが、市内で活動している訪問マッサージの事業所数を考えると少ない。まだ未加入の事業所も多数あり、その事業所にも現状を知って理解してもらうことも同時に考えている。そうすることでより多くの事業所が多職種と連携するうえでの課題を共有して解決していくことに一緒に歩んで行けると思っている。次回の協議会で報告したい。

【永見委員】医療と介護の連携支援センターの実績報告のなかにあった在宅要介護者受入支援事業が事業化されたということだったが、どのような事業かを聞いても良いか。

【長谷川委員】在宅要介護者受入支援事業は今年1月から事業化された。介護をされている家族が新型コロナの濃厚接触者や陽性者になって介護ができなくなったときに、その方を町田市内にある地域包括ケア病棟の病床を持っている病院に入院をしていただける受入支援事業となる。居宅版は実際には新型コロナの陽性者が増えたときに地域包括ケア病棟でも受入れができなくなったため、在宅で過ごすことが想定されたので、そこにヘルパーや訪問看護が入る事業を指して在宅受入支援事業としている。どちらの事業も今のところ実績としてはない。

(3) 次回の協議会の開催日程

2021年10月を予定。日にちが決まり次第連絡する。

6 閉会挨拶

【齋藤副会長】皆さん、ありがとうございます。鶴川サナトリウム病院がクラスターを起こしてコロナを身近なものに感じている。5月17日から高齢者のワクチン接種の予約が始まったが、なかなか予約が取れないと相談がある。高齢者がワクチンを打てる段階になって、私たち福祉職がいつワクチンを打てるかは

未定だと思う。その間、私たちはコロナにかからないことが重要だと思う。皆さん自粛はしているが、正しくマスクをつけるなどの動画サイトを見ていただいて感染しないように努めていただきたい。訪問看護やヘルパーステーションでマニュアル作りに活発に活動されていることはありがたい。これからもこうした活動が続けていけるように皆さんとやっていきたいと思う。皆さん、ご協力をお願いします。

【保険総務課・田村課長】 ワクチン接種に関しましては5月17日から高齢者向けの予約が開始された。今週からだが電話はかかりづらい状況が続いている。電話がつかないという苦情をいただいている。インターネットの予約は順調に入っている。既に11万件の予約が入っている。枠としては18万件とっている。1回目は取れるが2回目はなかなか自分の思ったように取れないことが苦情になっている。システム上の問題もあって、1回目と2回目を一緒に取るという形にはなっておらず、1回目を取った後で2回目をとることになっているので、3週間後にうまく取れるようになっていない。どうしてもシステム的なものもあり理想的な状況には難しいが、1回目は取れるようになっている。高齢者施設は4月19日から開始しており、少しずつ進めている状況だ。132施設のうち4施設ほど2回目まで進んでいるところがある。まだ接種できていないところもあるが、連絡を取り合って8割以上の施設では進めるようになっている。市内の施設で市内の医療機関の先生が打つのは比較的スムーズに調整がつくが、市内の施設に対して市外の先生がかかりつけになっているところはワクチンをどこから持っていくのか難しい状況があって、国に照会をにかけていた。その回答が返ってきたので、その回答に沿ってワクチンの供給をどうするか調整していきたい。昨日、町田の GION スタジアムで予約に基づき、1,500名分の接種をした。予約が1,500名入ったが、実際に打ったのは1,498名でキャンセルとなった2名分は会場にいたスタッフに打って廃棄は出なかった。来られた高齢者の方からは運営に関してはスムーズだったとお褒めの言葉をいただいた。各医療機関に関しては6月1日から開始となるため、医師会の先生方にはご苦勞を掛けすることになるが、7月いっぱい打ち切るためには回数を稼ぐ必要がある。越えなければならない山はあるが市の職員も頑張っている進めているので、ご協力いただきたい。

以上の議案審議、協議を行い、2021年度第1回の協議会を閉会した。

以上